

みずほCustomer Desk Report 2018/07/02号(As of 2018/06/29)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	110.54
TKY 9:00AM	110.50	1.1564	127.75	GBP/USD	1.3076
SYD-NY High	110.94	1.1690	129.45	AUD/USD	0.7348
SYD-NY Low	110.38	1.1558	127.72		
NY 5:00 PM	110.69	1.1690	129.28		
NY DOW	24,271.41	55.36	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,510.30	6.62	日本10年債	0.0300	0.00bp
S&P	2,718.37	2.06	米国2年債	2.5303	1.62bp
日経平均	22,304.51	34.12	米国5年債	2.7387	2.19bp
TOPIX	1,730.89	3.89	米国10年債	2.8592	2.00bp
シカゴ日経先物	22,265.00	▲55.00	独10年債	0.2995	▲1.80bp
ロンドンFT	7,636.93	21.30	英10年債	1.2765	1.50bp
DAX	12,306.00	128.77	豪10年債	2.6370	2.20bp
ハンセン指数	28,955.11	457.79	USDJPY 1M Vol	6.92	▲0.19%
上海総合	2,847.42	60.52	USDJPY 3M Vol	7.50	▲0.15%
NY金	1,254.50	3.50	USDJPY 6M Vol	7.88	▲0.07%
WTI	74.15	0.70	USDJPY 1M 25RR	-0.99	Yen Call Over
CRB指数	200.39	1.49	EURJPY 3M Vol	8.64	▲0.46%
ドルインデックス	94.64	▲0.75	EURJPY 6M Vol	9.03	▲0.25%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月29日	08:50	日 鉱工業生産(前月比/前年比)・速報	5月 -0.2%/4.2%	-1.0%/3.4%
	17:30	英 GDP(前月比/前年比)・確報	1Q 0.2%/1.2%	0.1%/1.2%
	18:00	欧 コアCPI	6月 1.0%	1.0%
	18:00	欧 CPI速報値(前年比)	6月 2.0%	2.0%
	21:30	米 個人所得/個人支出	5月 0.4%/0.2%	0.4%/0.4%
	21:30	米 PCEコア(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.0%	0.2%/1.9%
	23:00	米 ミシガン大学消費者マインド・確報	6月 98.2	99.0
6月30日	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	6月 51.5/55.0	51.6/54.8

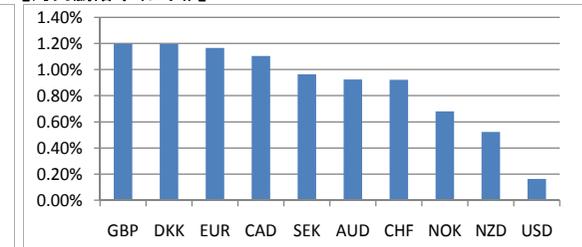
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
7月2日	08:50	日 短観 大企業製造業/予測	2Q 22/20	24/20
	08:50	日 短観 大企業非製造業/予測	2Q 23/22	23/20
	10:45	中 Caixin製造業PMI	6月 51.1	51.1
	22:45	米 製造業PMI(確報値)	6月 54.7	54.6
	23:00	米 ISM製造業景況指数	6月 58.5	58.7

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.20—111.20	1.1620—1.1720	128.70—129.70

【マーケットインプレッション】

先週金曜日の海外市場でのドル/円は底堅い展開となった。アジア時間に発表された、EU移民関連問題で合意とのヘッドラインを受け、欧州時間序盤から欧州株が堅調値動きを示す一方、為替についてはアジア時間にある程度の値動きを消化していたことや、トランプ大統領からWTO脱退のヘッドラインが発表されたこともあり、欧州時間のドル円の値動きは限定的。米国時間に入り、米国PCEコア指数が予想をやや上回り、米国株も小幅に上昇するなか、ドル円も110円90銭台まで上昇する展開となった。今週は米国が中国からの輸入品制裁課税を発動させる予定となっており、方向感の出づらいつながり続くだろう。

東京	ドル円は110円台後半を中心に円売りが強まった。東京時間は110.50レベルにてオープン。仲値までは110円台半ばでの推移が継続したが、通過後は円売りが優勢となった。EU首脳会議で移民問題について合意に達したとの報道によりユーロ円が大きく上昇したこともドル円の上昇をサポートした。ドル円は一時110.80まで上値を伸ばしたが、利益確定の売り等から一段の上値追いつきはならず110.65レベルにてロンドンに渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、110.65レベルでオープン。EUサミットで移民政策について合意との報道でリスクオンとなり週の高値圏での推移となり一時110.76まで上昇。一部報道で米トランプ政権がWTOからの脱退を望んでいると伝わる(午後米高官が否定)と110.48まで売られたがドル売りは限定的で110.66レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1638レベルでオープン。EUサミットの結果を好感したユーロ買戻しの中、ドイツの5月小売売上高が冴えない結果となり1.1613まで低下したが程なく切り返し1.1650レベルでNYに渡った。ポンドドルは、1.3107レベルでオープン。朝方に発表された英第1四半期のGDP(確報値)が予想を上回り、その後もなく「隔たりはあるがフレキシブルに進展」とEU側からのコメントが伝わるとポンド買いが強まり1.3186まで買われる。結局1.3149レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	ドル円は110.66レベルでNYオープン。朝方は一連の米経済指数は強弱まちまちの結果となったことから110.65近辺で推移するが、EU首脳会議の報道を受けリズケルムが強まったせいか、夕先物の上昇を受けて110.80まで上昇。その後、米6月ミシガン大学消費者マインド指数が予想を下回り、またロンドン市場に於いてドル売りが強まり110.62まで下落するが、ドル円は底堅く、反転し110.88を付ける。NY午後は今週下落基調だった米10年債利回り率が2.85%まで戻す動きを受け、ドル円は110.94まで高値を更新。週末を控え、終盤はポジション整理で売りが入り110.69レベルでクローズ。ユーロドルは1.1650レベルでNYオープン。朝方は海外時間のユーロ買いが一巡したことや、ドラギECB総裁がEU首脳らに貿易競争激化による経済への打撃について懸念を示したことが伝わり、一時1.1628まで下落する。その後ドル売りが強まったことから1.1679まで上昇。午後最高値圏での推移が続き、本日高値の1.1690レベルでクローズ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 福田・田家